

はじめに

技術研究所 所長 八ツ繁 公一

本年度は、我が社の新中期計画・ADV(アドバリュー)2008の初年度に当たります。長期的には「強い現場力と高い企業競争力で持続可能な成長を続ける一流・先端企業」を目指します。この長期企業イメージを実現するために、2008年度の完成を期して中期ビジョンが作成されました。

中期企業イメージとしては、「VALUE創造専門家集団」として ANDO ブランドを高め続ける企業です。

この言葉は「良い建物を造ることはもちろん、建設の前工程、後工程においても社内外の力をプロデュース(演出)して価値を創造する企業」を表します。

基本スタンスとしては、「お客様の要求通りに造るサプライヤーから、お客様の要求を超える価値を提供するパートナーへ」モチベーションの向上を図ります。

事業スタイルとしては、「建設事業の注力4分野への集中、事業間の相乗効果の発揮」そして、注力4分野は「生産施設、医療福祉施設、超高層・大規模住宅、ストック市場」に特化して、建設受注の上流での貢献および全社収益の安定化を目指します。

技術研究所の活動も、この中期ビジョンに沿って、「価値提案型営業を支える特色ある技術、信頼の基本となる品質を高める技術強化」を基本とします。

そして、我が社の技術開発の先鋒としての役割を果たし続ける所存です。

これらの活動の成果が、来期からの技術研究所報として、皆様のお手元に届けられることを重大な使命と考え、各テーマにおいて2008年度の完成を期します。

技術研究所報は研究活動の情報発信源として、また、皆様方からいただきましたご指導へのお礼としてお届けしたいと思えます。

皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

2006年11月